

経済産業省「認知症共生社会に向けた製品・サービスの効果検証事業」  
成果報告会

# MCI・認知症対応型趣味教室

(取得した技能を生かした社会参加・就労機会含む)  
事業成果報告

株式会社オールアバウト



# 製品・サービスの概要と認知症共生社会に資すると考えたポイント

## 背景・課題 私たちの理解

認知症の人・家族と  
社会の距離

今まで楽しんで  
きた趣味・活動  
が制限

ご本人・家族の  
QoLの低下・  
負担増・リスク増

MCI/認知症への  
理解が伴う  
活動機会の不足

社会参加  
に対する不安

## 本事業で実施すること

- ・ 知識研修を受けた趣味講師養成
- ・ MCI/認知症の人にも楽しめる教材づくり

「MCI/認知症への理解が伴う  
MCI/認知症対応趣味教室の創出」

本事業を  
通じて変革

## 目指すべき社会像

認知症の人・家族の  
趣味・活動をきっかけ  
とした社会参加の増加

MCI/認知症への  
理解が伴う  
活動機会の存在

ご本人・家族の  
QoLの向上・  
負担減・リスク低下

MCI/認知症の人  
も楽しんで  
趣味・活動を継続

社会参加  
に対する安心

## 当該課題に着目すべき理由

MCI/認知症になっても、  
安心・楽しんで継続できる趣味機会の存在は  
課題解決の変革点になりうる

## ご本人の楽しみと社会参加の機会創出を通じたQoL向上

- (本人) 継続できる趣味・技能習得の機会を通じた、役割実感・活躍の場・就労機会の維持・創出
- (家族) コミュニケーション(話し相手)の負担・インフォーマルケア時間の削減を通じたQoL向上

## ■ 実証の実施体制

- ・オールアバウト : 管理責任
- ・オールアバウトライフワークス : 教材開発、講師募集と育成、受講生募集、講座実施サービス・改善点の定性評価
- ・東京都健康長寿医療センター : データ収集、分析、効果測定
- ・京都橘大学 : 教材開発・講師育成講座・改善点の定性評価
- ・実証フィールドの皆様 : 実証条件に沿う受講生の募集・講座場所

## ■ 発表

### 実証（効果検証）内容

東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム

### 実証を通じて得られた成果

東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム  
オールアバウトライフワークス

### 社会実装に向けた展望

オールアバウトライフワークス

# 実証（効果検証）内容

## 実証を通じて得られた成果

東京都健康長寿医療センター研究所  
社会参加と地域保健研究チーム

## 実証（効果検証）の概要

令和2年度 趣味講座の心身への有効性に関するパイロット研究



令和3年度 趣味講座の心身への有効性に関する無作為化比較試験  
(RCT)

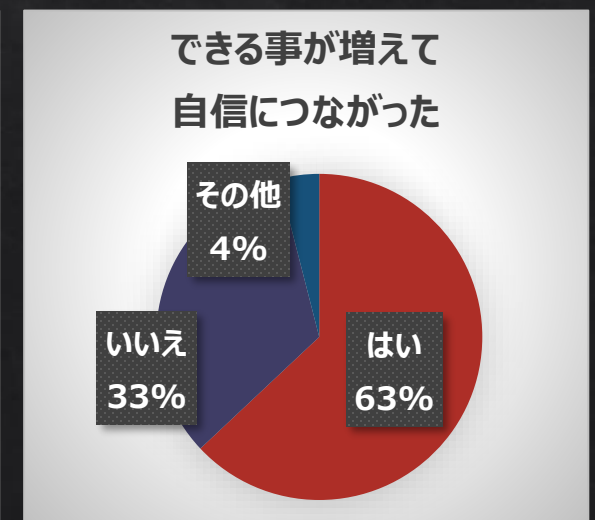
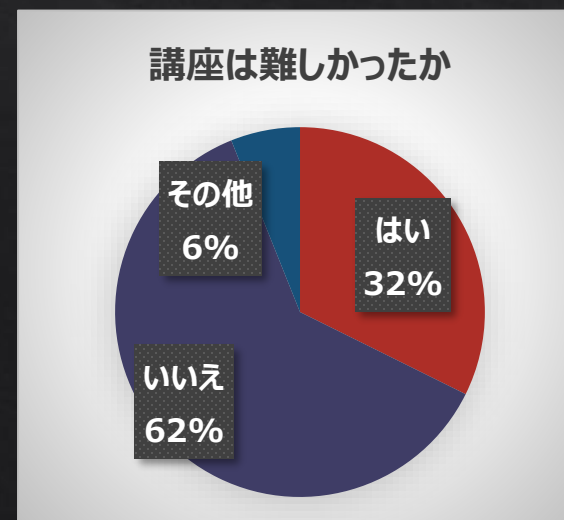
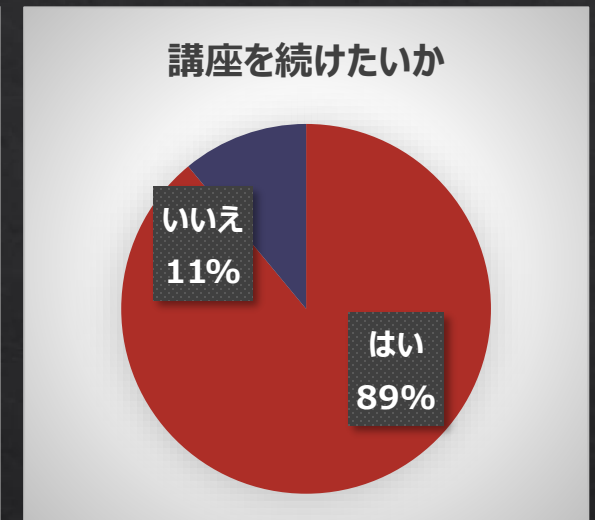
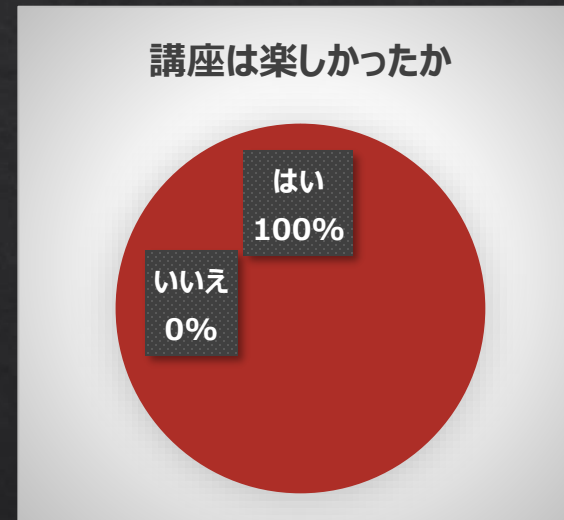
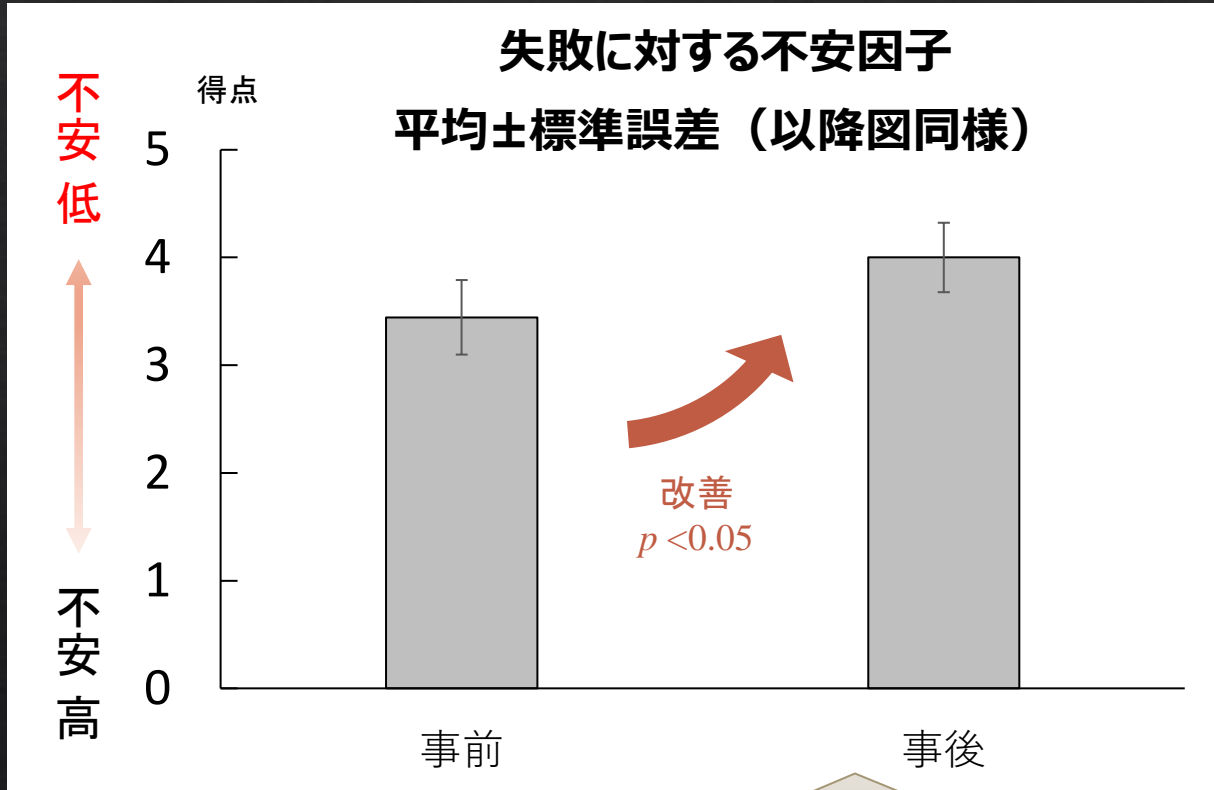


令和4年度 趣味講座の有償化の影響に関する社会実装研究

# 令和2年度 趣味講座の心身への有効性に関するパイロット研究

## 一般性セルフ・エフィカシー尺度の失敗不安が改善

解析対象：18名、CDR 0.5~1



『失敗をしない。成功体験と満足感を与える』  
『できないことは手伝い、できるところは奪わない』

# 令和3年度 趣味講座の心身への有効性に関する無作為化比較試験

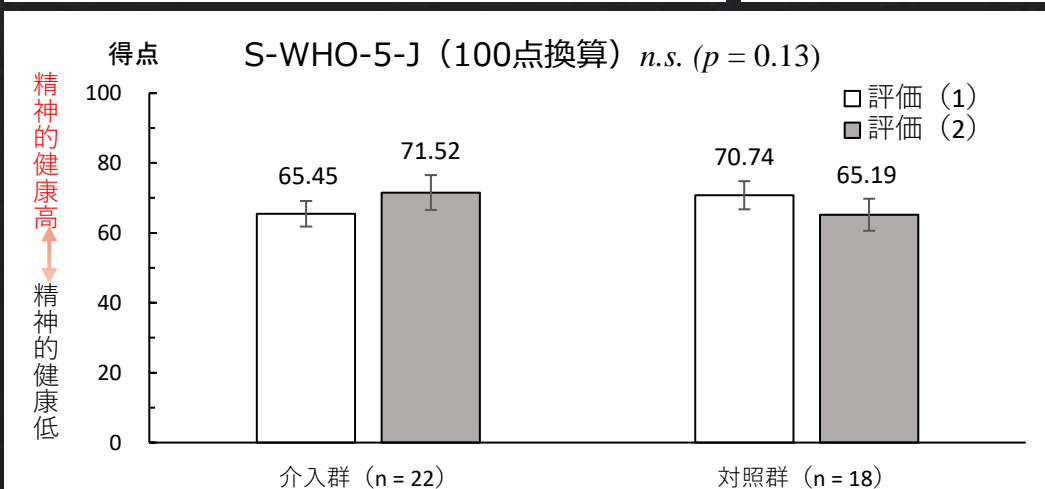
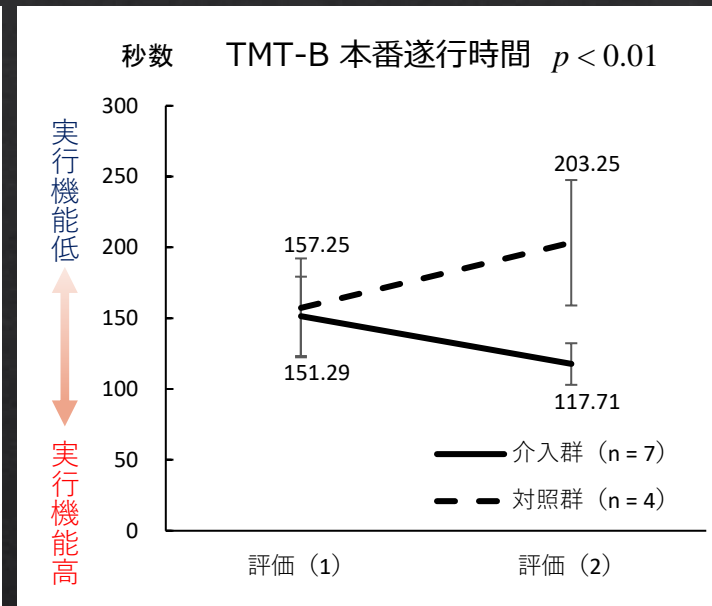
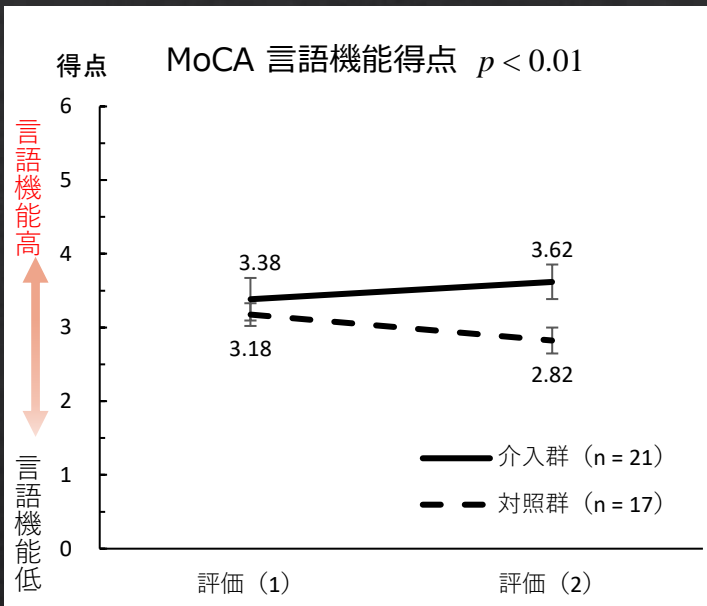
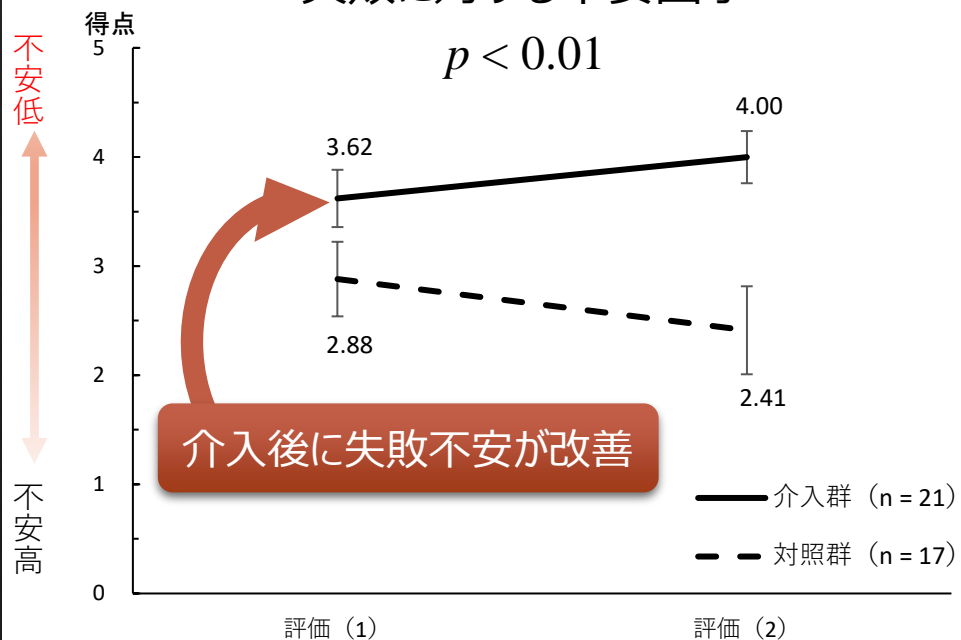
一般性セルフ・エフィカシー尺度の失敗不安に介入効果  
認知機能（実行機能・言語機能）において介入効果を示唆

解析対象：介入群24名、対照群20名  
CDR 0.5~1

解析方法：評価(1)・(2)の変化量の  
群間比較（共分散分析）

## 失敗に対する不安因子

$p < 0.01$



↑ TMT-BはNが少なく  
解釈には要注意  
(認知機能低下者は  
実施不可が多数)

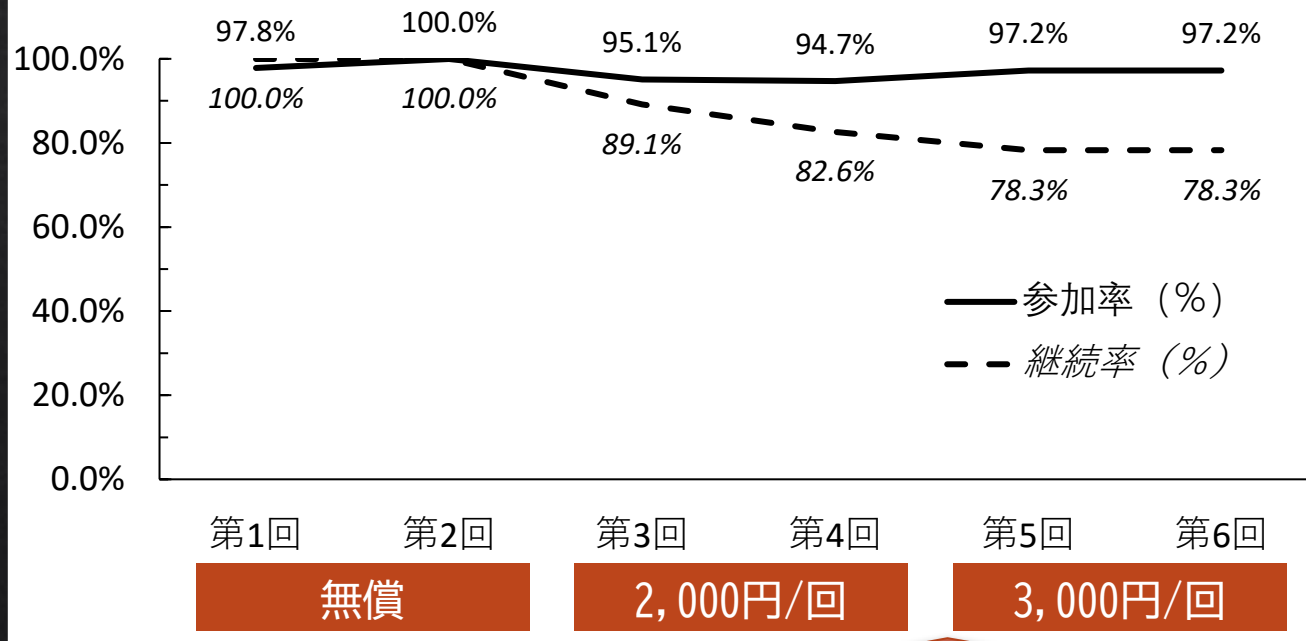
← 精神的健康に得点  
向上はみられるが  
有意ではない  
自粛生活が影響し  
ている可能性あり

# 令和4年度 趣味講座の有償化の影響に関する社会実装研究

有償講座の完遂率は78.3%（46名のうち36名が完遂）  
精神的健康状態（S-WHO-5-J）において完遂後に得点が向上

解析対象：46名（29名はR2/R3検証事業参加者、18名は新規参加）、CDR 0.5~1

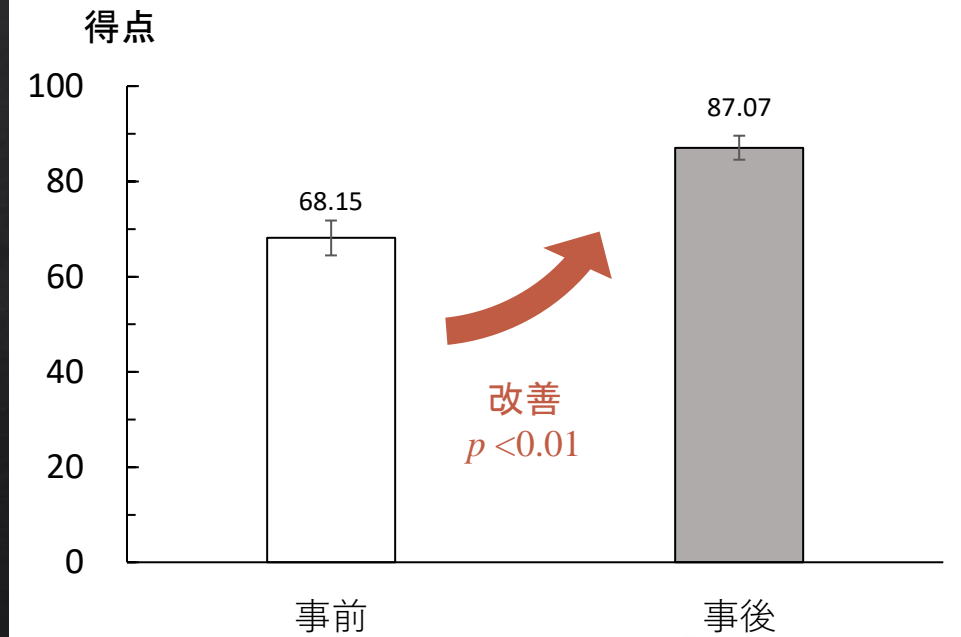
講座の各回の参加率と継続率



## 有償講座の主な脱落理由

金銭的負担 (n=1)、体調・認知症の変化 (n=9)

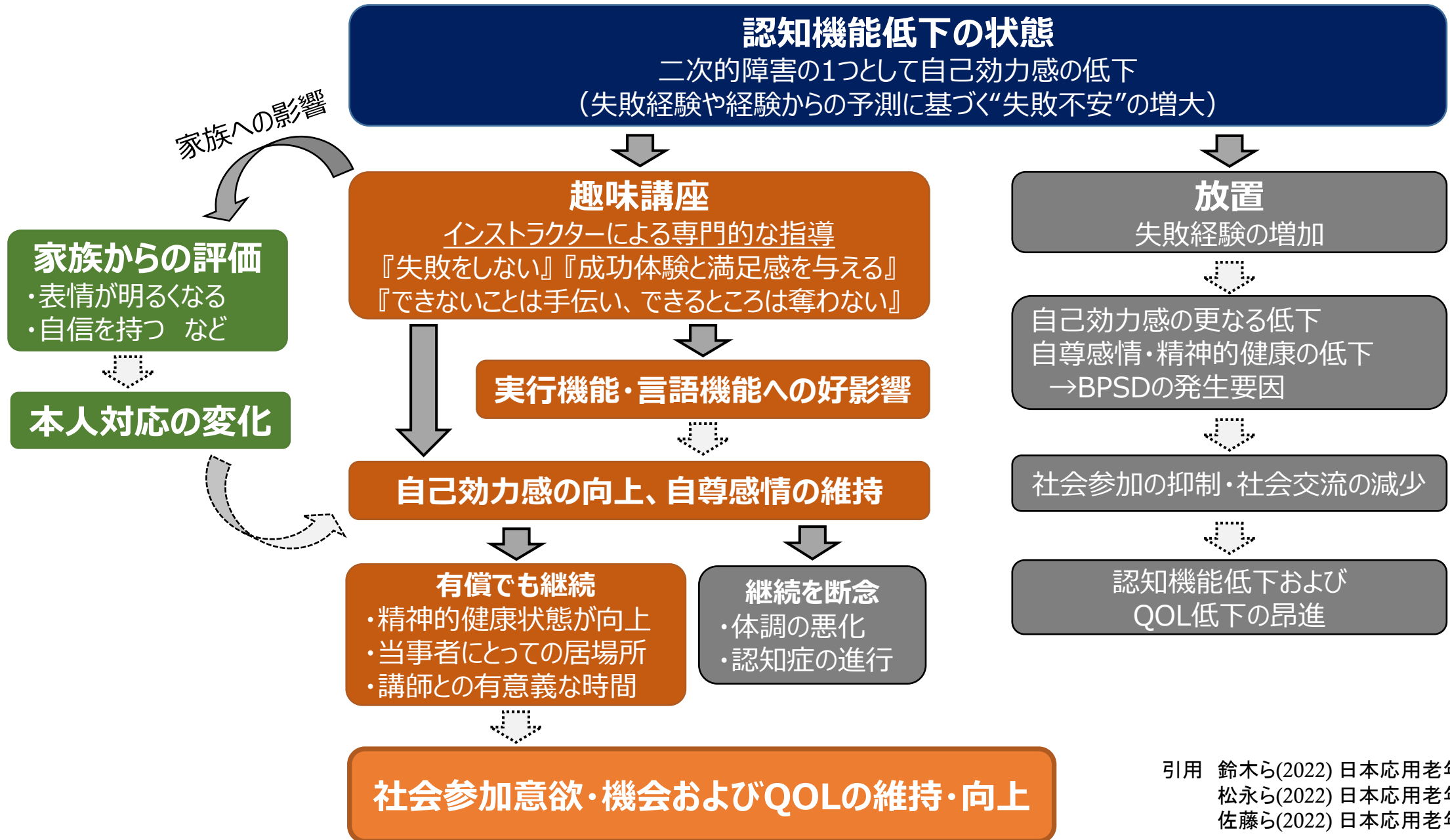
S-WHO-5-J (100点換算) n=36



有償講座に参加する = 趣味講座に積極的  
R2/R3参加者にとっては長期効果の可能性



# 実証を通じて得られた成果



引用 鈴木ら(2022) 日本応用老年学会発表  
松永ら(2022) 日本応用老年学会発表  
佐藤ら(2022) 日本応用老年学会発表

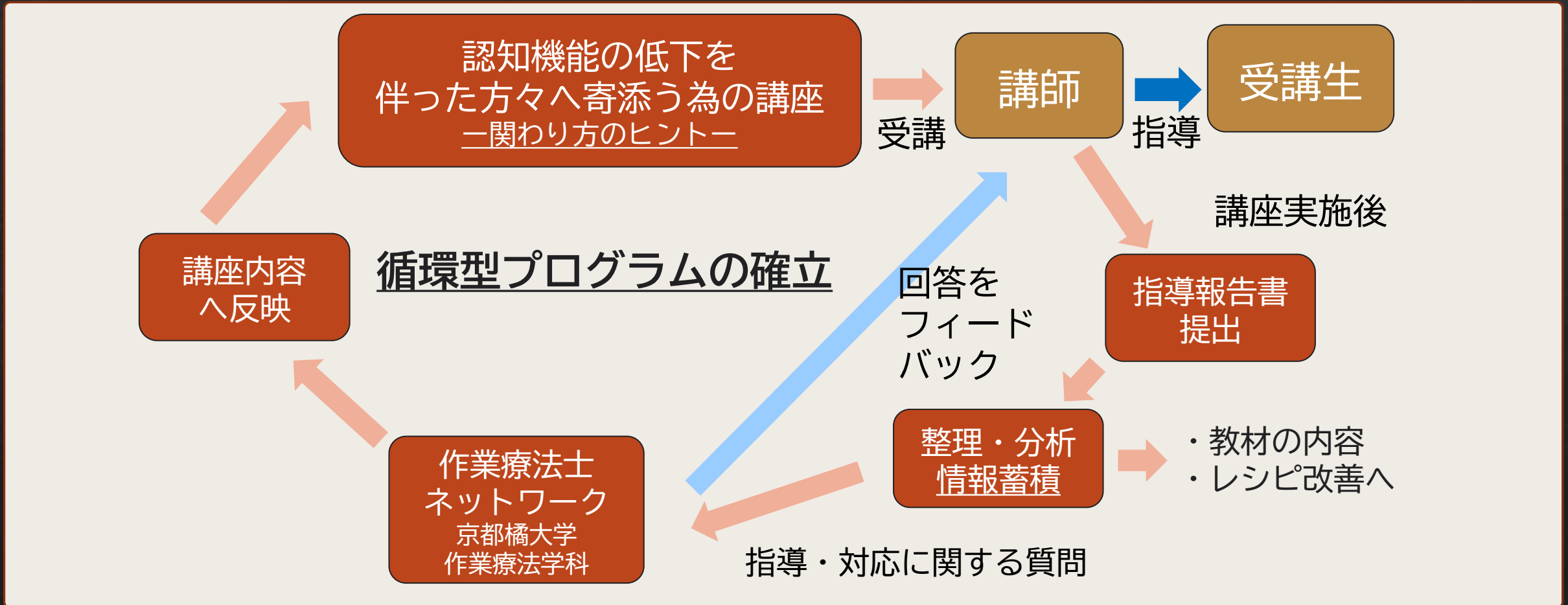
# 実証を通じて得られた成果

(講師育成講座・教材・受講者の受容性)

株式会社オールアバウトライフワークス

# 実証を通じて得られた成果(知識研修を受けた趣味講師養成について)

講師参加希望者募集 → 知識と寄り添い方講座を受講後 趣味教室を開催  
(講座制作支援：京都橘大学 健康科学部 小川敬之先生)



実証期間（3年間）累計 約1000講座を実施し、ノウハウを蓄積

# 実証を通じて得られた成果 (MCI/認知症の人も楽しめる教材づくりとカリキュラムについて)

## 開発教材を「数値 (見える) 化」 (京都橘大学 健康科学部 小川敬之先生)

- ・ 「切る・貼る・通す」などの作業別に、「含まれる回数・難易度・その他要素」を組み合わせ数値化し、作業負荷や満足度を数値で測れるようにした。また、継続率の高いカリキュラム策定にも利用した
- ＊結果、受講生の反応から、「楽しめる教材」「高い継続率のカリキュラム策定」に有効と確認できた
- ＊利用の蓄積から利用者の嗜好、残存能力が見える化できると考えており、就労へもつなげていける可能性を感じた

## 共生教室での利用を意識した教材づくり

- ・ 「完成できる教材・チャレンジもできる教材」をテーマに、元気な方も認知機能に少し不安がある方も一緒に楽しめる今までの教材とは異なる教材づくりを企画制作した
  - ＊1つの教材にチャレンジポイントを組み込み、利用者のレベルごとに完成できる教材
  - ＊完成形が1つではなく、利用者の意思で完成デザインを変えられる教材
- 結果、多くの有意な成果を得ることができた

レベル	作品	画像	作業難易度	工数
☆	マスクケース		3	3
	ペットボトルケース		3	3
	コサージュ		13	6
	箱織バック		13	7

貼る(テープ、両面テープなど)	糊をつける	通す	組み立てる	結ぶ	編む	留める	ほぐす	厚紙の数
1	1	2	3	2	3	2	1	1:少-3:多

## 実証を通じて得られた成果（講座実施後の受講生の評価）

### 様々な環境で講座を実施

\*ご自宅（お一人で・ご夫婦で・友人と・ご家族と）

\*施設（デイサービス・サ高住・民間の集いの場・病院内会議室・自立支援）

### 講座、教材価格の受容性（6回連続講座：2教材無料4教材有料 継続予測50%）

\*講座受講の結果 継続率80%

（骨折など本人意思以外での中断者を除くと90%）

・受講生をはじめ、参加のご家族からも継続ご希望の声をいただきました

### 教材満足度（ものづくりが持つ2つの楽しみ方）

①制作（作業・会話）を楽しむ 92%

②出来上がったものを楽しむ 88%

（飾る・身に着ける・プレゼントする）

講師育成・教材企画制作・カリキュラムづくり・講師の現場での対応  
それぞれが繋がり、1つのプログラムとして皆様に評価をいただけた

# 実証を通じて得られた成果（受講生の皆様のたくさんの笑顔）



食事を用意して待って  
くれている生徒さんもいます

顔をつくる教材は、表情  
に特徴があるので会話  
のきっかけになりやすい

飾り方をそれぞれに工夫してもらっているのは  
嬉しいと講師からの声。  
ご家族との会話もはずむようです。

# 実証を通じて得られた成果（受講生の皆様のたくさんの笑顔）



# 実証を通じて得られた成果（受講生の目に見える変化）

## （受講開始前～直後） 2021年度実証事業 MCI/軽度な認知症の方々や関係者の言葉

- ・ 不審がられた
- ・ 女性向けの作品ばかりに見える
- ・ 男性の私にはあわないのではないかと（開始前問い合わせ）
- ・ 家で声を出して笑うことが無くて、嫌なことばかり
- ・ 私は早く死んだほうがいいと思っている・・・
- ・ 娘さんの看護とご主人が亡くなられた事が重なり、引きこもり状態が続いていた
  - ・ 「骨折していてこれから病院に行く、手芸どころではない」とお断りされました（虚言とのこと）。施設の方にお願ひし、なんとかテーブルについてくださいました。

## 言葉・態度から見られるポジティブな気持ちへの変化

講師指導報告書より

## （受講が進んだ回） 2021年度実証事業 MCI/軽度な認知症の方々や関係者の言葉

- ・ 講座前日はワクワクして寝られない
- ・ 自分で素材を買って何個も作った（男性）
- ・ 孫に作品が欲しいとねだられた
- ・ 家族から作品をみて驚かれた
- ・ 着ている服が明るい色に変わっていった
- ・ 何日も話をしない日が続いていたが、講座に参加して話ができ楽しい
- ・ もうあと〇回なの？さみしい
  - ・ 講座の終わりには、わざわざ施設の出口までお見送りまでしてくださいました。少しずつ心を開いてくださっているのかと、とても嬉しく思いました。



# 社会実装に向けた展望

## 社会実装に向けた展望（目指すサービスについて）

認知症共生に関する知識をもった講師による専用教材を用いた指導教室や個別サービスをメニュー化し、既存サービスの新たなピースとして貢献したい

### ◆高い継続率とたくさんの笑顔を作り出せる新しいものづくりサービス

- \* 共生教室の開催
- \* 独居世帯の引きこもり対策
- \* 見守りサービス
- \* 生きがいや就労機会創出プログラム
- \* あきらめていたことを実現するサービス
- \* 企業顧客の健康維持サービス

見守りによる  
家族・介護者の  
負担を改善

社会との接点が  
断絶しまいがちな  
方へのサポート

安心して紹介できる  
趣味教室や  
受入場所がわからない  
ことへの対応

# 社会実装に向けた展望(実装スケジュール)

令和4年度

令和5年度前期

令和5年度後期

- 介護分野や新たな顧客サービスをご検討の企業・団体・医療機関の皆様へ営業(活動中)
- 連携パートナー様との協業に向けた営業(活動中)
  - 連携パートナー様とのテスト実証、メニュー化検討
    - 追加教材開発
  - 「講師養成講座」発表・募集開始
  - 教材キット発売

# 社会実装に向けた展望(運用例 イメージ図)

成果に裏付けされた継続的な趣味講座の受講による健康維持と生きがい創出サービスを推進

講師紹介・教材やカリキュラム作り  
協同企画から運用まで

専門講師



自治体・企業・団体の皆様  
ご家族と利用検討  
(場づくり)

施設で  
カフェで「共生教室」

個別指導



教室の開催

受講データ蓄積



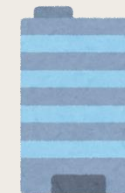
+ 既存の仕組み・システムとの連携

「能力の見える化」

見えてくる残存能力  
・得意なこと苦手なこと  
・作業能力レベル

+ マatching 自治体・企業・団体

適材適所  
「求める人材」  
「やりたい仕事」



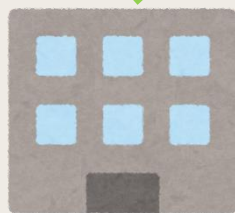
目標づくり



賃金 仕事・作業



学んだ教材や知識で  
世代を超えた交流



継続的な  
専用教材の提供  
カリキュラム企画

# 社会実装に向けた展望（就労機会の創出に向けて）

講座の受講を通じて、「生きがいづくり」「仲間づくり」「あきらめていたことへの挑戦」はもちろん「能力の見える化」で、本人が意識せずにできてしまう適材適所の就労機会創出のきっかけになるよう育てていきたい

## 「能力の見える化」 主催者が把握

能力に合わせた役割分担

集合

作業

会話・談笑・食事

賃金

## 事例) 実証教材のキット生産作業

- ・要支援1認定の方 ・デイサービスに通われている方 ・MCIの方複数 計7名
- ・能力に合わせた役割分担 例)ビーズの袋詰めが難しい人は小袋を開ける係  
200キット×2種 400キット生産 **不良率0%!**

■ビーズハンガーキット製造 1日目 (7名の参加者)  
ビーズを色別に必要数を小袋に詰めます



■ビーズハンガーキット製造 2日目  
ビーズを色別に必要数を小袋に詰めます。  
京都橘大学学生も参加  
ワイヤーの切断は、ともついで実施。



キット組み作業後、学生も交えて  
皆さんで料理を作り一緒に食事と会話



■ビーズハンガーキット製造 3日目  
ビーズが入った小袋を大袋に入れ、レシピやワイヤーを入れて完成

- ・要支援1認定の方
- ・デイサービスに通われている方
- ・うっかり物忘れを中心としたMCIの方は数名



外注先として利用できる結果となりました

## 社会実装に向けた展望（協業・採用のご検討のお願い）

実証での成果をもとに社会実装に向けて、

- 「専門講師育成プログラム」の商品化

  - 専門講師登録の仕組み作り

- 教材開発とカリキュラム作り

  - 教材品質維持組織の確立

- プラットフォーム作り

を進めています。

興味を持っていただきました皆様、是非ご連絡をお待ちしています。

株式会社オールアバウト ウェルネス事業推進室

株式会社オールアバウトライフワークス 新領域推進室

[wellness@gakusyu-f.jp](mailto:wellness@gakusyu-f.jp)

## 実証にご協力をいただいた皆様

(2020～2022年)

- ・神奈川県大和市 健康福祉部 人生100年推進課 様
- ・京都:特定非営利活動法人 地域共生開発機構 ともつく 様

(2021～2022年)

- ・秋田県湯沢市 社会福祉協議会 様／介護施設・高齢者の集いの場の皆様
- ・新潟:医療法人 新成医会 みどり病院グループ 様
- ・福岡市 保健福祉局 高齢社会部 認知症支援課 様／  
福岡オレンジパートナーズ・医療・介護福祉事業者様

(2022年)

- ・デイサービスじりつ(株式会社フロー・ライフ)様

延べ100名を超える参加者のご家族の皆様

ご協力をいただきましたすべての皆様へ  
心より感謝申し上げます



ご清聴ありがとうございました

MCI・認知症対応型趣味教室

株式会社オールアバウト

wellness@gakusyu-f.jp



お問い合わせは 

